

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	234	沖縄らしい風景づくり推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア		
担当部署名	土木建築部 都市計画・モノレール課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	<p>普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の創生を図ることを目的に、県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム開催等広報啓発を行うとともに、風景づくりに係る人材の育成、景観向上に係る技術研究開発、県実施公共事業に係る景観評価システムの構築検討及び試行に係る取り組みを行う。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,350	—	55,297	0	73,982
		(b) 予算現額	23,350	—	55,297	0	74,364
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	0	382
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	23,350	—	55,297	0	74,364
	B. 執行済額		23,223	—	54,918	0	73,904
	うち交付金充当額		18,578	—	43,934	0	59,123
	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.5%	—	99.3%	—	99.4%
予算の状況の説明		<p>・予算額はシンポジウムの開催、人材育成、景観評価システム構築検討、景観向上に係る技術開発の委託料及び旅費等の経費を計上したところであり、平成27年度はシンポジウムの開催、人材育成に係る講習・研修の実施、景観評価システムの試行及び沿道景観向上に係る技術研究開発を実施した。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム開催	目標	1回	1回	1回	1回	
		実績	1回	1回	1回	1回	
	地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成に係る講習回数	目標	—	人材育成実施	6回(6地区)	6回(6地区)	
		実績	—	人材育成実施	6回(6地区)	6回(6地区)	
	地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修開催数	目標	—	人材育成実施	4回	4回	
		実績	—	人材育成実施	4回	4回	
	景観に配慮された社会資本整備を行うための景観評価システム案試行	目標	—	試行実施	試行実施	試行実施	
		実績	—	試行実施	試行実施	試行実施	
景観向上に係る技術開発	目標	—	—	技術開発実施	技術開発実施		
	実績	—	—	技術開発実施	技術開発実施		
達成状況説明		<p>・県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウムを開催した。 ・地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成を実施した。 ・市町村職員を対象とした地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修を開催した。 ・道路、河川、宮縄、港湾事業において景観評価システム案の試行を実施した。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発を実施した。</p>					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(24年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(33年度)
	県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム参加者数	目標	200人	200人	200人	200人	2000人
		実績	362人	213人	238人	214人	—
	地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材数	目標	—	50人	60人(6地区)	60人(6地区)	400人
		実績	—	405人	661人(6地区)	407人(6地区)	—
	地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修受講者数	目標	—	—	50人	50人	200人
		実績	—	24人	226人	160人	—
	景観評価システム案試行により景観配慮設計等を行った事業数	目標	—	3件	9件	10件	25件
		実績	—	4件	8件	10件	—
	景観向上に係る技術開発件数	目標	—	—	1件	1件	3件
実績		—	—	1件	1件	—	
進捗状況説明		<p>・県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウムを開催したところ、214人が参加し、目標を達成することができた。 ・地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成を6地区で実施したところ、延べ407人が参加し、目標を達成することができた。 ・地域の景観活動への指導等に係るスキルアップ研修を開催したところ、延べ160人が参加し、目標を達成することができた。 ・景観評価システム案について、道路、河川、宮縄、港湾の計10事業の試行を実施し、目標を達成することができた。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発を1件実施し、目標を達成することができた。</p>					

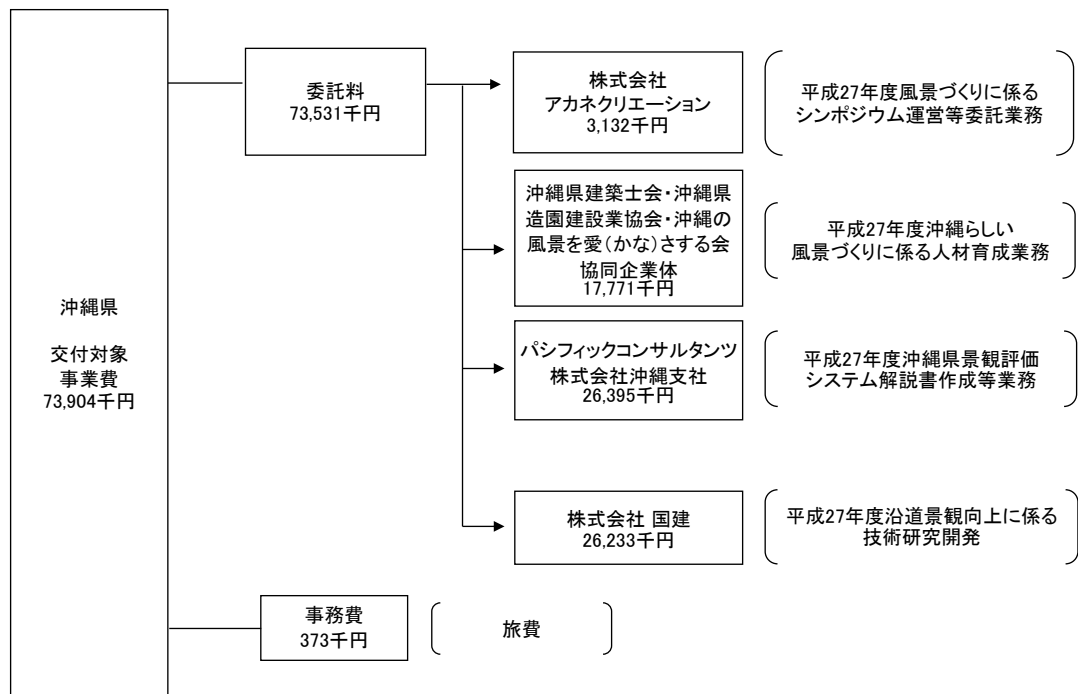
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成後、育成された人材が活動を実施できる体制の整備に向け市町村と意見交換を行ったが、地域景観協議会等の設立には至っていない。 ・景観評価システム案の試行状況からみると、県内は景観設計の十分な経験及び技術力を持つコンサルタントが少ないことから、平成27年度は道路・河川・営繕分野の県内コンサルタント及び県事業担当者を対象とした研修会を実施した。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発について、植栽等の効率的な維持管理と美観維持に貢献する景観形成を両立させることが、経済性の観点から重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成された人材が活動できる機会、場を創出するため、各地区でワークショップを開催するなど、地域住民の意識向上を図る必要がある。 ・県内建設産業の活性化及び円滑な景観評価システムの運用に向けて、景観設計ができる専門家の育成に向けた検討が必要である。 ・沿道景観向上に係る技術研究開発について、効率的な雑草抑制と景観向上の両立が経済性の観点から重要であることから、道路維持管理業務の発注形態やイニシャルコストとランニングコストを含めたトータルコスト等の検討を行う必要がある。

今後の取り組み方針

・育成された人材が活動できる機会、場を創出するため、各地区でワークショップを開催するなど、地域景観協議会等の設立に向けて引き続き取り組んでいく。
 ・景観に配慮した建築、土木、造園等の設計・施工を行うことができる人材を育成するため、県内外の景観有識者等による研修会を引き続き実施する。
 ・沿道景観向上に係る技術研究開発について、検討委員会での助言等を踏まえながら、道路維持管理業務の発注形態やコスト面等の検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
73,904	73,904	59,123	14,781	0	0	0



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業者は公募型プロポーザル方式により企画提案内容、実施体制、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・費目、用途については、事業目的達成の観点から必要なものを実施し、完了後の検査を実施することで、支出内容の確認を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

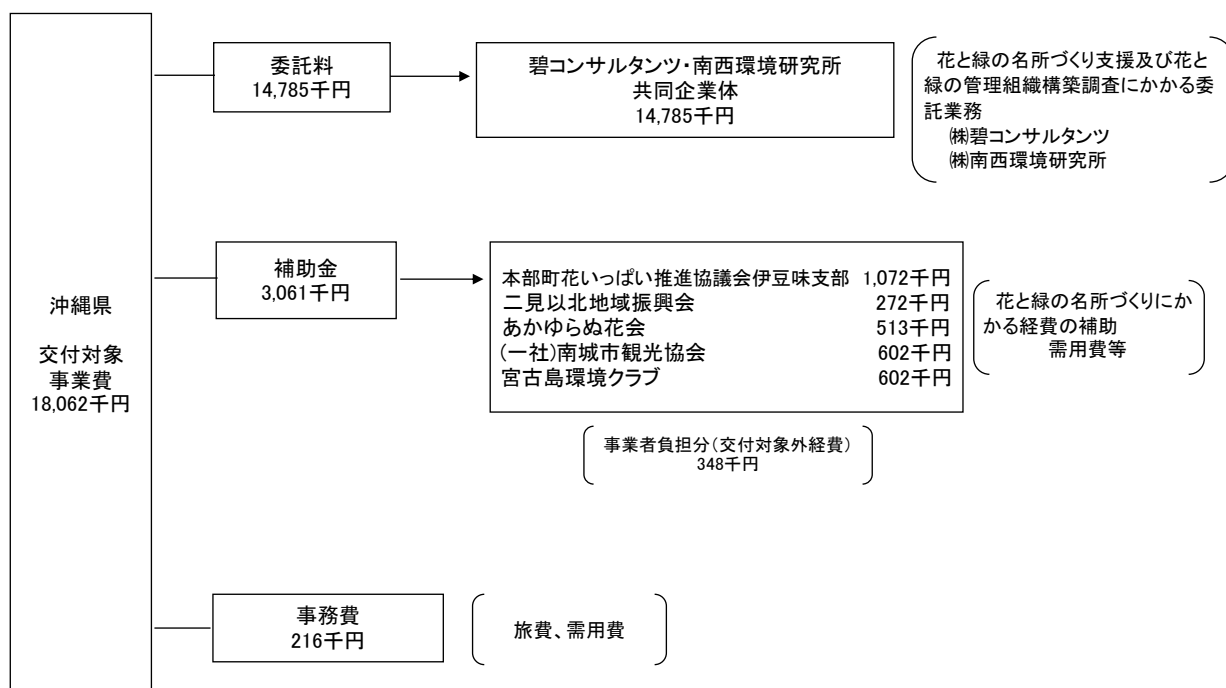
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	34	沖縄グリーンプロモーション事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ			
担当部課名	環境部 環境再生課	事業実施 (予定)年度	平成 26 ~ 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	花と緑あふれる県土の形成		
事業内容	亜熱帯の特性を活かした沖縄らしい花と緑の名所づくりを推進するため、花と緑の人材育成、自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の確立に向けた支援及び調査を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0	—	27,796	0	18,339
		(b) 予算現額	0	—	27,796	0	18,339
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	0	—	27,796	0	18,339
	B. 執行済額		0	—	26,749	0	18,062
	うち交付金充当額		0	—	21,399	0	14,450
	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		—	—	96.2%	—	98.5%
予算の状況の説明		予算額は「花と緑の名所づくり」に係る補助金と名所づくりの支援、自立的持続的緑化活動の手法の確立に係る委託料、指導監督に係る旅費、需用費等の経費を計上している。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	緑化活動団体への活動支援 6件	目標	—	—	10件	6件	
		実績	—	—	6件	7件	
	自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討	目標	—	—	—	自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討	
実績		—	—	—	自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討		
達成状況説明	・緑化活動団体への活動支援については、自立的かつ持続的な活動に必要な解決すべき事項を多く抽出するため、委託のみによる緑化技術等の支援にも取り組んだことで、事業の対象とする団体数を増やした。 ・学識経験者による委員会の開催及び関係者との調整を行い、自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (〇〇年度)
	各緑化活動団体の運営基盤の強化及び沖縄らしい花と緑の名所づくりの推進 6団体	目標	—	—	10団体	6団体	—
		実績	—	—	6団体	7団体	—
	緑化活動団体が自立的かつ持続的に活動するために必要な手法(素案)の作成	目標	—	—	—	緑化活動団体が自立的かつ持続的に活動するために必要な手法の作成	—
		実績	—	—	—	緑化活動団体が自立的かつ持続的に活動するために必要な手法の作成	—
	【参考指標】 県民による緑化活動件数	目標	55件	増加	増加	増加	増加
		実績	55件	52件	59件	59件	—
進捗状況説明	・緑化活動7団体に対して会員確保の手法等運営改善の支援を行い、花と緑の名所づくりを推進した。 ・学識経験者等による委員会の開催及び関係者との調整を通じて、自立的かつ持続的に活動するために必要な手法を作成し、手法に基づき、花と緑の名所づくり等地域住民による緑化活動を地域(北部、中部、南部、宮古、八重山)で継続支援する緑化活動の中核となる緑化団体を立ち上げた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事後検証における改善案「事業対象団体数の増」については、委託のみによる支援も実施することで1団体の増に結びついた。 活動実績は、目標以上の7件の支援を実施し、学識経験者による委員会等の開催により「自立的かつ持続的に活動する緑化団体の構築手法の検討」ができたことから「達成」と評価する。 成果実績は、目標以上の7団体の運営基盤強化及び名所づくりの推進をし、緑化活動団体が自立的かつ持続的に活動するための手法を作成したことから「達成」と評価する。 事業推進の課題として、立ち上げた地域の中核となる緑化団体は地域住民に認知不足である。 中核となる緑化団体は支援の経験が不足しており、能力が弱い。 なお、当該緑化活動団体への支援件数と参考指標の「県民による緑化活動件数」のカウント方法が異なるため、一概に比較はできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域における緑化活動の中核的な団体として地域住民に広く評価・認知される必要がある。 支援の能力を強化し、地域の中核的緑化団体として育成する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>平成28年度は、花苗づくりの能力を強化し、花苗等による緑化活動の支援を通じ、広く地域住民の評価・認知を獲得し、地域の中核的な緑化団体として定着し、その役割を果たせるよう支援体制を育成する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
18,410	18,062	14,450	3,612	0	0	348



資金の 用途の 流れ・ 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○補助事業者は事業費の1割を負担しており、事業内容の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	225	沖縄フラワークリエイション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ		
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	花と緑あふれる県土の形成		
事業内容	観光地沖縄の魅力を増大するため、観光地アクセス道路等において花木・プランター等を設置し、花いっぱい道路空間を形成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	300,000	—	383,000	—	490,000
		(b) 予算現額	300,000	—	383,000	—	490,000
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	—	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	300,000	—	383,000	—	490,000
	B. 執行済額		283,569	—	374,697	—	489,910
	うち交付金充当額		226,855	—	299,757	—	391,928
	C. 次年度繰越額		0	—	0	—	0
	執行率 (%) (B/A)		94.5%	—	97.8%	—	99.98%
予算の状況の説明		執行率は99.98%であり、入札差金による不用額(約9万円)が発生したことによる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	花の飾花・環境整備	目標	3路線	15路線	32路線	41路線	
		実績	3路線	15路線	27路線	40路線	
		目標					
		実績					
達成状況説明	平成26年度に実施した27路線から事業の拡大を図り、合計40路線に対してコンテナの飾花等の植栽管理業務を委託する形で事業を実施した。 事業実施箇所に関する調整等に不測の時間を要したため、目標の41路線に対して実績が40路線と全てに着手できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(33年度)
	沖縄らしい道路緑化に対する観光客の満足度	目標	—	82%	85%	85%	90%
		実績	82%	82%	85%	95%	—
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	観光地へのアクセス道路40路線において、年間を通してコンテナ飾花や草花の植付等による道路緑化を行い、観光客の満足度95%と目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観を維持することで、沖縄観光のイメージアップと振興に寄与するものであることから毎年継続して実施していく必要がある。 ・主要観光地までのアクセス道路40路線において、コンテナ飾花や草花の路地植え等を実施し、道路景観の向上やリゾート景観を創出することで、観光地としてのイメージアップを図ることができた。 ・コンテナに鉢植えの花木を入れ替えることで、年間を通して花を見せることを可能としているが、台風時の対応や鉢植えの品質の向上と維持が課題である。 ・平成27年度は発注者である各事務所、受託者である沖縄県造園建設業協会、苗の生産者である沖縄県緑化種苗協同組合と定期的に会議を行い、管理手法や苗の生産状況の把握、新たな苗の品種や飾花手法について検討を行った。植物の管理が主であるため、気象条件や環境などの影響を受けやすく、品質向上や技術力向上のために、継続して連携して取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉢植えについて、品質の確保と向上が重要であり、生産者である沖縄県緑化種苗協同組合や、委託先である沖縄造園建設業協会と連携しながら、各種課題解決に取り組む必要がある。 ・より印象的な緑化による道路空間を形成させるため、花木の種類の組合せや立体的な配置などの検討が必要である。

今後の取り組み方針

- ・沖縄県緑化種苗協同組合や沖縄県造園建設業協会と連携しながら、鉢の品質向上や効率的な管理技術の向上に取り組む。
- ・観光部局と連携し、イベントと連携した道路飾花を行うことで相乗効果を高め、観光客へのイメージアップが図れるよう取り組む。
- ・各土木事務所の執行状況を的確に把握し、密に連携することで適切な執行に努める。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
489,910	489,910	391,928	97,982	0	0	0

沖縄県 交付対象 事業費 489,910千円	委託料 489,910千円	支出先	契約業務名及び業務概要		支出額(千円)		入札者数	落札率
			業務概要	業務概要	うち交付金充当額	うち県負担金		
		1 (有)丸善緑化	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション業務委託 (H27-1) 植栽管理業務	13,963	11,171	11社 (指名競争)	99.7%
		2 (有)名護緑化センター	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション業務委託 (H27-2) 植栽管理業務	12,028	9,622	10社 (指名競争)	97.0%
		3 (有)ナカムラ造園土木	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション業務委託 (H27-3) 植栽管理業務	6,430	5,144	9社 (指名競争)	99.1%
		4 公益社団法人 名護市シルバークセンター	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション業務委託 (H27-4) 植栽管理業務	14,115	11,292	9社 (随筆契約)	99.9%
		5 (有)仲木造園土木	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション業務委託 (H27-5) 植栽管理業務	31,979	25,583	11社 (指名競争)	97.9%
		6 公益社団法人 本部町観光協会	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション業務委託 (H27-6) 植栽管理業務	4,817	3,853	1社 (随筆契約)	99.5%
		7 (有)丸善緑化	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション業務委託 (H27-7) 植栽管理業務	3,726	2,981	9社 (指名競争)	99.1%
		8 (株)トロボカルグリーン設計	契約業務名 業務概要	北部管内フラワーリエイション設計業務委託 (H27-8) 植栽管理業務	6,937	5,549	6社 (指名競争)	94.7%
		9 (有)高皇農園	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-1) 植栽管理業務	17,712	14,170	12社 (指名競争)	87.8%
		10 (有)樹榮	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-2) 植栽管理業務	23,436	18,749	13社 (指名競争)	87.3%
		11 (有)高皇農園	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-3) 植栽管理業務	15,768	12,614	10社 (指名競争)	87.5%
		12 (株)東海造園	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-4) 植栽管理業務	5,724	4,579	6社 (指名競争)	98.0%
		13 (有)グリーンスターフ	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-5) 植栽管理業務	4,104	3,283	13社 (指名競争)	86.1%
		14 (株)沖縄丸和	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-6) 植栽管理業務	30,180	24,144	7社 (指名競争)	88.0%
		15 社会福祉法人 伊集の木屋	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-7) 植栽管理業務	9,783	7,826	1社 (随筆契約)	98.4%
		16 末吉園 (株)	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-8) 植栽管理業務	7,042	5,633	2社 (指名競争)	90.9%
		17 (有)みね造園	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-9) 植栽管理業務	3,948	3,150	4社 (指名競争)	98.8%
		18 (有)宮城緑水園	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-10) 植栽管理業務	11,111	8,889	1社 (指名競争)	96.6%
		19 金秀グリーン (株)	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-11) 植栽管理業務	27,442	21,953	9社 (指名競争)	86.4%
		20 (有)那覇造園土木	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-12) 植栽管理業務	22,766	18,213	11社 (指名競争)	90.9%
		21 (株)橋原農園	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-13) 植栽管理業務	27,440	21,952	10社 (指名競争)	98.1%
		22 (株)平成造園	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-14) 植栽管理業務	27,662	22,130	9社 (指名競争)	98.5%
		23 (有)泉川園芸	契約業務名 業務概要	中部管内道路修繕業務委託 (H27-15) 植栽管理業務	12,806	10,244	3社 (指名競争)	91.2%
		24 社会福祉法人 みやこ福祉会	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修繕業務委託 (H27-1) 植栽管理業務	16,470	13,176	1社 (随筆契約)	98.4%
		25 (有)拓南開発	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修繕業務委託 (H27-2) 植栽管理業務	16,273	13,019	13社 (指名競争)	93.5%
		26 (株)樹榮	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修繕業務委託 (H27-3) 植栽管理業務	13,590	10,872	11社 (指名競争)	86.5%
		27 (株)ダイユウ建設	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修繕業務委託 (H27-4) 植栽管理業務	12,662	10,130	8社 (指名競争)	95.2%
		28 光造園	契約業務名 業務概要	八重山管内道路修繕業務委託 (H27-3) 植栽管理業務	19,818	15,854	4社 (指名競争)	87.6%
		29 (株)ガーデン・なみき	契約業務名 業務概要	八重山管内道路修繕業務委託 (H27-4) 植栽管理業務	22,144	17,715	9社 (指名競争)	87.6%
		30 おもと造園	契約業務名 業務概要	八重山管内道路修繕業務委託 (H27-7) 植栽管理業務	17,411	13,929	3社 (指名競争)	95.4%
		31 (有)やまと庭樹園	契約業務名 業務概要	八重山管内道路修繕業務委託 (H27-8) 植栽管理業務	14,709	11,767	7社 (指名競争)	86.0%
		32 (有)兼久建設	契約業務名 業務概要	八重山管内道路修繕業務委託 (H27-9) 植栽管理業務	15,916	12,732	4社 (指名競争)	94.2%

資金の流れ、費目、 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から適正であった。